

WPFから8月の原水爆禁止世界大会へ 2006年世界大会成功めざす「行動月間」ニュース

発行: 原水爆禁止日本協議会 電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033
URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 【2006年5月30日 NO.1】

「行動月間」成功へ 各地で意欲的な計画

署名100筆で平和Tシャツ贈呈、5千筆で国連派遣の補助金10万円…兵庫

合言葉は「行きたい人はみんな行こう」

5月26日、神戸市内で兵庫県原水協の常任理事会がひらかれました。

会議では、日本原水協の「訴え」を受けて、6月、7月の「行動月間」のとりくみについて活発な討議がおこなわれ、世界大会代表を昨年以上(広島300人)を送り出す。世界大会までに20万の「すみやか」署名集める。すべての基礎単位で世界大会パンフレットを使った学習運動。平和行進の全構成員参加に挑戦、などの目標を決めました。

世界大会への代表派遣では、代表目標を数字で定めるとともに、「行きたい人はみんな行こう」を合言葉に、名前をどんどん出そうと提起しています。

「すみやか」署名のとりくみでは、「1構成員×5署名」をめざし、世界大会代表がその先頭にたつことを提起。「100署名」達成者に平和Tシャツ贈呈、「500署名」達成者10人に世界大会分担金免除、「5千署名」達成者10人に国連要請団参加(10月)補助金10万円という顕彰制度を設けています。

この他、7月8日(土)9日(日)を青年行進の日とし、「平和行進にみんなが1日参加」を合言葉に「100筆でも」とよびかけています。

いま、なぜ「すみやか」署名か 埼玉県原水協が講演の夕

5月30日 午後6時30分

埼玉県原水協は本日、県原水協の総会に合わせて、高草木博事務局長を講師に「いま、なぜ『すみやか』署名か」の講演会を開きます。「行動月間」成功へ、全県からの参加で署名の飛躍をめざしています。

世界大会 広島へ500人の代表を!

大阪原水協は、5月23日に常任理事会を開き、世界大会 広島に500人の代表を送ること。そのために、5、6、7月を「代表派遣集中特別期間」として、代表派遣に見合う募金活動にとりくむことを決めました。また、5月31日に「世界大会成功めざす学習会」を計画し、これを契機に、地域・職場・学園で世界大会パンフレットを中心とした学習会を積極的に開催することをよびかけています。

世界大会パンフレット感想紹介

世界大会パンフレットが好評です。クロスワードパズルの回答に合わせて感想が寄せられています。第1号を紹介します。長崎市から原田さん親子から届いた感想です。

長崎市 原田陽平さん(27歳、雑誌編集)

今、核兵器廃絶の為に何が大切か、何をしなければならぬかが良くわかる内容になっています。このパンフレットを良く学習することで、運動のエネルギーと新しい意欲が湧くと思います。今年の大会の成功と核兵器廃絶に向け、出来ることを地道にやりたいと思います。

長崎市 原田治男さん(38歳、調理師)

核兵器をめぐる世界の情勢や、核兵器廃絶に今何が必要かが良くわかる内容で、展望と確信をもつことができました。

長崎市 原田睦男さん(66歳、年金者)

パンフレットは、世界の核兵器をめぐる情勢、とりわけ世界から孤立するブッシュ政権や核拡散の危険がどこからきているか等の正確な分析の上で、核兵器廃絶の課題は、何よりも草の根の一人ひとりの声を掘り起こし、世論と運動を大きくすることにこそその中心があることを明確にしています。国民平和大行進の成功、「すみやか」署名の推進に力を尽くしたいと思います。